中学理科プリント（書き取り）
火山・地震・地層 No.1

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／21

1. 短期間で広範囲にわたって積み重なるため、離れた場所の地層が同じ時期にできたものか比較する際、基準となる地層を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 火山灰層が地層の対比に役立つとき、特に基準となる地層を指して何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
3. マグマが地表付近で冷えてできる火山岩のうち、代表的な岩石として挙げられるものを一つ答えよ。 ＿＿＿＿＿＿＿＿
4. 地球内部で地震が起きた場所の真上にあり、地表に最も近い地点を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
5. 火山岩の斑状組織において、石基の中に含まれる、比較的大きく成長した結晶のことを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
6. 火山岩に見られる組織のうち、大きな結晶の部分を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
7. 地下の深い場所でマグマがゆっくりと冷えて固まり、等粒状組織を持つ深成岩の代表例として挙げられる、黒っぽい岩石を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
8. マグマの中に溶け込んでおり、噴火の際に粘り気の強いマグマから抜けにくくなることで、爆発的な噴火を引き起こす原因となるものを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
9. 左右から押される力が加わることで、岩盤がずれてできる地形を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
10. 地震発生時に観測地点へ先に到達する、最初の小さな揺れのことを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
11. 火山灰の微細な結晶や粒子を観察する際に用いる、拡大してもピントが合いやすい顕微鏡を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
12. 火山の噴火によって放出され、広範囲に短期間で堆積するため、地層の対比において重要な役割を果たす層を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
13. マグマが地下深くでゆっくりと固まることで形成される、白っぽい色調が特徴の代表的な岩石は何？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
14. 特定の地質時代にのみ繁栄し、その地層がいつの時代のものかを決定づける化石を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
15. 火山岩特有の、大きな結晶と小さな結晶からなる組織を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
16. 地震による地面の揺れを感知し、その到着時刻や強さを記録するための観測機器を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
17. 堆積物が長い年月をかけて押し固められ、岩石になる過程のことを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
18. 火山活動によって噴出し、広い範囲に短期間で堆積したため、地層の比較や対比に役立つ層を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
19. 火山から勢いよく噴出した細かな破片が堆積し、長い時間をかけて固まってできた堆積岩のことを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
20. 地震の波のうち、進行方向に沿って地面を押し引きする形で進む波を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
21. 過去に繰り返し活動しており、今後も地震を引き起こす可能性のあるものを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「火山・地震・地層」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.1 火山・地震・地層

言えた　／21

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	鍵層は、広範囲に同時に堆積するため、遠く離れた地点の地層を比較する際の「時代の手がかり」となります。	鍵層	□
2	そのため、離れた地点の地層を対比させる際に非常に有効な手がかりとなり、こうした地層を鍵層と呼びます。	鍵層	□
3	安山岩は、日本の火山に非常に多く見られる火山岩です。	安山岩	□
4	地震のエネルギー源である震源の真上に位置し、地表において震源から最も近い場所を震央と呼びます。	震央	□
5	斑晶は、溶岩の急冷前に成長していた結晶です。	斑晶	□
6	斑状組織のうち、比較的ゆっくりとした段階で成長した大きな結晶部分を「斑晶」と呼びます。	斑晶	□
7	斑れい岩は、深成岩に分類される岩石です。	斑れい岩	□
8	火山ガスはマグマの粘り気に大きく影響されます。	火山ガス	□
9	逆断層は、地殻が左右から強く圧縮されることで発生します。	逆断層	□
10	地震が発生すると、まず速度の速いP波が伝わり、地表に小さな揺れを引き起こします。これを初期微動と呼びます。	初期微動	□
11	双眼実体顕微鏡は、左右の目で立体的に対象物を観察できるように作られています。	双眼実体顕微鏡	□
12	火山灰層は一度の噴火で広範囲に飛散し、非常に短時間で積み重なるという特徴があります。	火山灰層	□
13	花こう岩は、長石や石英などの鉱物が混ざり合い、全体として白っぽい色をしているのが特徴です。	花こう岩	□
14	示準化石の条件は「生息していた期間が短いこと」と「広い地域に生息していたこと」です。	示準化石	□
15	斑状組織は、先行してできた「斑晶」と、後の急冷によってできた「石基」が混在するつくりです。	斑状組織	□
16	地震計は、地面の振動を感知して電気信号に変換し、波形として記録する装置です。	地震計	□
17	続成作用とは、堆積物が長い年月をかけて自重による圧力や化学的な変化を受け、堆積岩（れき岩、砂岩、泥岩など）に変化する過程を指します。	続成作用	□
18	火山が噴火した際、火山灰などは風に乗って広い範囲に一気に降り積もります。このような堆積層を鍵層と呼びます。	鍵層	□
19	これらが重なり、地層として蓄積したものが凝灰岩です。	凝灰岩	□
20	地震波には大きく分けてP波とS波があり、P波は縦波と呼ばれます。	縦波	□
21	活断層とは、数万年前以降に活動した証拠があり、今後も同じ場所で断層運動を繰り返すと予想されるものの総称です。	活断層	□

言えなかった用語ノート